

事務事業マネジメントシート(平成29年度実績と平成30年度計画)

平成31年 1月 4日 更新

事務事業名	議会広報広聴事業		<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	1 自治の健康	所属部	議会事務局	課長名 財津 公正			
	施策	2 行政改革の推進	所属課	議会事務局	担当者名 中村 考智			
	施策の柱	10 開かれた議会の推進	所属班	議会班	(内線) 1312			
予算科目	会計	款	項	目	事業連番	根拠法令	成果優先度評価結果	⑥
	一般	1	1	1	10930		コスト削減優先度評価結果	⑨
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 29年度で終了 <input type="checkbox"/> 29年度から開始		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)				

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	議会活動を広報広聴する事業と議会広報調査特別委員会の活動費である。 ・議会広報紙関係…年4回「議会だより」を発行している。(定例会終了後、翌々月の第2木曜日発行) ・ホームページ関係…合志市発足と同時に市のホームページが開設されたことに伴い、議会情報も掲載し運用を開始。議会概要、議会からのお知らせやお願い、議員名簿、定例会の日程や一般質問の内容、審議結果、会議録、議会だより、議会カレンダー等を掲載している。 ・本会議のインターネット配信関係…平成25年9月定例会から本会議のインターネット配信(ライブ・録画中継)を開始。議会の審議の様様を自宅にいながら見ることができる。
【業務の流れ】	・議会広報紙関係…編集作業は、毎定例会(年4回)後に議員で構成する議会広報調査特別委員会を5回程度開催し、原稿依頼や収集、紙面レイアウトなどを行い、印刷業者へ発注し印刷する。 ・ホームページ関係…議会概要、議会からのお知らせ・お願い、議会カレンダー、議員名簿、定例会の日程や一般質問の内容、審議結果、会議録、議会だよりを掲載し随時更新。定例会の会期中にはツイッターで随時情報を提供。 ・本会議のインターネット配信関係…議場に設置したカメラで撮影した定例会本会議の映像を、インターネットで配信する。
【主な予算費目】	旅費(費用弁償、普通旅費)、需用費(印刷製本費)、委託料
【意見や要望】	・議会広報紙関係…市民からは、行政用語、専門用語を使わず、分かりやすい言葉を使ってほしいとの要望を聞いている。また発行を早くしてほしい、印刷をフルカラーでしてほしい、議会報告会における意見交換会の内容を掲載してほしい等の要望もあがっている。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
① 手段(主な活動) 29年度実績(29年度に行った主な活動)(DO)	議会広報紙「議会だより」を年4回発行し、ホームページにも掲載した。(5月20、30日・8月20、400部、11月20、450部・2月20、500部) 議会の概要、議会からのお知らせ・お願い、議会カレンダー、議員名簿等掲載した。また、定例会の日程や一般質問の内容、審議結果、会議録を掲載し、随時更新した。定例会期間中は、ツイッターで随時情報を提供した。本会議のインターネット中継配信(ライブ・録画中継)を実施した。	30年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) 例年と同じく、議会広報紙の発行・ホームページでの情報発信・本会議のインターネット中継の配信を行う。また議会広報特別委員会視察研修は隔年実施のため、平成30年度は実施しない。
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 日 → ア: 本会議開催日数 イ: 広報紙発行回数	予算の主な増減の理由 平成30年度は議会広報特別委員会先進地視察研修を実施しないため、旅費の減。また、インターネット議会配信業務については、Microsoft社のサーバーOSがサポート終了により後継製品へ移行のための費用等増による委託料の増。
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等 市民	(単位) 人 → ア: 人口	② 対象指標(対象の大きさを表す指標) → ア: 人口
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 自宅で気軽に審議の様子や議会活動情報を入手し、議員がどんな活動を行っているかがわかり、議会に関心を持つようになる。	(単位) % → ア: 議会だよりを読んだ イ: インターネットアクセス数	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標) → ア: 議会だよりを読んだ イ: インターネットアクセス数
*③成果指標設定の理由と30年度目標値設定の根拠 ア、市民の関心を計る指標として設定した。委員の研修等の成果により、親しみの持てる紙面づくりができ、市民の関心を高めることができるのではと考え、目標値を60%とした。 イ、議会情報を周知する手段としてホームページを活用していることから、閲覧状況を成果指標とした。目標値については、平成27年度は改選と重なり関心を集めたが平成28年度以降は落ち着くと考え平成26年度を参考に設定した。		総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	27年度 実績(決算)	28年度 実績(決算)	29年度 目標(当初予算)	29年度 実績(決算)	30年度 目標(当初予算)	31年度 予定	32年度 見込	33年度 見込	
① 活動指標	ア	日	25	21	26	24	26	26	26	26	
	イ	回	4	4	4	4	4	4	4	4	
② 対象指標	ア	人	60,008	61,022	60,900	61,652	61,500	62,000	62,500	63,000	
	イ										
③ 成果指標	ア	%	44.2	49.8	60	47	60	60	60	60	
	イ	回	13,855	9,146	12,000	9,562	12,000	12,000	12,000	12,000	
投資 入 費 量	財源内訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
	一般財源	一般財源	千円	4,035	3,478	4,623	4,076	4,682	5,068	5,647	5,205
		(A) 事業費計	千円	4,035	3,478	4,623	4,076	4,682	5,068	5,647	5,205
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		人件費	人	4	5	5	5	5	5	5	5
人件費	正規職員従事人数	人	4	5	5	5	5	5	5	5	
	延べ業務時間	時間	881	947	1,100	955	1,100	1,100	1,100	1,100	
	(B) 人件費計	千円	3,271	0	4,382	3,777	4,382	4,382	4,382	4,382	
トータルコスト(A)+(B)		千円	7,306	3,478	9,005	7,853	9,064	9,450	10,029	9,587	

事務事業名	議会広報広聴事業	所属部	議会事務局	所属課	議会事務局
-------	----------	-----	-------	-----	-------

## 2 評価の部 (CHECK)

\*原則は29年度の後評価、ただし複数年度事業は29年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①29年度目標達成度評価	<input type="checkbox"/> 達成した <input checked="" type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】 議会広報紙関係…親しみの持てる紙面づくりに委員一同取り組み、一定の成果は上がっているが、まだ成果指標を見る限り結果として表れていない。これは、市政及び議会に対する関心が低いことが背景にあると考えられる。 ホームページ関係…本年度は常任委員会等の改選もあり、昨年度よりもアクセス数は増加した。成果指標に達していない原因としては議会広報紙同様、議会に対し関心が低いことが挙げられる。
	②30年度目標達成見込み	<input type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 議会広報紙関係…議会広報調査特別委員会を設置し年4回広報紙を発行する予定。紙面内容の工夫等をおこなっているが、議会に対する関心はまだ低く目標達成は厳しい。 ホームページ・本会議インターネット配信関係…開かれた議会づくりを基本とし随時更新を行っていく予定、またインターネット配信もトラブルがないよう管理運営に努め配信を行う予定のため、達成の見込みはついている。
有効性評価	③成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 議会広報紙関係…見やすい、読みやすい紙面への改善。発行時期の改善。 ホームページ関係…ホームページ利用者の満足度を高める工夫が必要。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 議会広報紙関係…広報こうしに議会のページを設ける。毎月の発行であり、よりタイムリーな情報を提供できるが、広報こうしの原稿締め切りに間に合わない等の問題はあ。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 議会広報紙関係…印刷に係る経費が大半であり、見積競争入札により決定していることから、これ以上の削減の余地はない。 ホームページ関係…ホームページ掲載に関しては職員が行っているため、削減の余地はない。 本会議インターネット配信関係…最低限の事業費で行っており、削減の余地はない。
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 必要最小限であり削減の余地はない。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 議会広報紙関係…区入りしていない世帯への配布方法について検討が必要である。 ホームページ・本会議インターネット配信関係…誰でもがいつでもアクセスできるもので、受益者負担は伴わない。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 行政が行う分野であるため、移行はできない。

## 3 評価結果の総括 (CHECK)

議会広報紙関係…定例会ごとに発行する議会だよりについては、6人の委員の意見を集約し、分かりやすい紙面づくりに努められている。その結果徐々に内容も充実してきているが、その成果が市民の関心を高める結果に直結していないと考えられる。市政及び議会に対する関心を高めるために、議会及び議員活動の活性化と議会事務局の充実を図る必要がある。  
 ホームページ関係…掲載内容は随時更新しているが、ツイッターを利用し、よりタイムリーな情報を発信するよう心掛け掲載している。会議録検索システムについては、ホームページ掲載まで約3カ月の期間を要しており、情報提供の遅れに課題はあるが、会議録作成に約3カ月間がかかるため、困難な状況にある。  
 本会議インターネット配信関係…本会議を傍聴できない市民等が本会議を視聴するため平成25年度から導入。昨年度よりもアクセス数は増加しているが目標は達成できなかった。しかし、開かれた議会づくりに貢献できている。今後は、より多くの市民等にアクセスしていただくようPRを行っていく。

## 4 今後の方向性(事務事業担当課案) (ACTION)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上		○																			
	維持																					
	低下																					
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																						